

SYLLABUS

2024



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

専門分野 授業計画

専門分野は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、看護学領域別の臨地実習を基本の領域とし、それぞれに科目を設定しています。また、各領域と密接な関係をもつ7つの領域横断科目を設定しています。総計53科目（66単位）で構成しています。

基礎看護学は、総計9科目（11単位）で構成し、看護の基礎的理論や安全で安楽な看護を提供するための基本的看護技術、看護の展開方法を学びます。また、専門基礎分野の知識を活用して科学的根拠に基づいた看護実践を導くために、患者を想定したシミュレーション演習を多く取り入れながら、気づきを看護専門職の臨床判断につなげるための授業を展開していきます。

地域・在宅看護論は、総計5科目（5単位）で構成し、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場で多職種と連携・協働しながら看護を実践するための能力を養うための基礎を学び、実習は地域に暮らす人々の様々な活動の場、生活の場で展開します。少子・高齢社会の進展とともに需給が増している看護師の役割が期待される分野です。

成人看護学5科目（5単位）、老年看護学3科目（3単位）、小児看護学3科目（3単位）は、発達段階別の看護に加え治療が必要な人々に対する看護を健康段階別に学ぶ領域です。講義をとおして成長発達を理解し、様々な発達段階・健康状態にある人々に対する看護の方法を学び、実習をとおして看護実践能力につなぎます。さらに、実習をとおしては、安心・安全を保障する援助の実践を積み重ねます。

母性看護学3科目（3単位）では、女性のライフサイクルの健康に対応する能力を養います。また、実習ではマタニティサイクル期にある母子とその家族を総合的に理解し人間の生命の誕生と尊厳について考え、人間をかけがえない存在として理解していくための過程をたどります。

精神看護学3科目（3単位）では、精神機能に対応する能力を養うための知識を深めます。実習をとおしては、対象との関係を丁寧に振り返り、自分自身の行動が対象に与える影響について深く考え自分の傾向を見つめていきます。これらの過程をとおして援助的人間関係や治療的コミュニケーションについて学びを深めていきます。

看護の統合と実践は3科目（3単位）で構成し、医療安全をはじめチーム医療における看護マネジメントや多職種と連携・協働するための基礎的知識と実践力を身につけます。いよいよ看護師として活躍する直前の重要な科目です。

また、各看護学において共通する7科目（7単位）の領域横断科目を設定し、包括的、継続的な看護を展開するための知識を身につけます。領域横断科目は、看護師独自の専門性をもつ判断力や多職種と連携・協働する力を身につけるために欠かせない科目となります。

各看護学領域の臨地実習は総計12科目（23単位）で構成し、講義で学んだ知識・技術・態度を実践の場で活かし理論と実践を結びつけます。看護の対象を前に展開する実習は看護師としても、人としても成長できる貴重なものとなります。

実習をとおして理論と実践を統合した後に履修する地域・在宅看護論Ⅳでは、事例をとおして人々が住み慣れた地域で暮らすための多職種と連携・協働にある支援についてまとめます。同じく、看護実践演習では複雑な状況下での看護場面を想定した演習をとおして看護実践力に導き、3年間の学びをまとめ看護師国家試験に臨みます。

専門分野を構成する領域

基礎看護学
領域横断
地域・在宅看護論
成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学
看護の統合と実践
臨地実習

母性看護学

科目区分	専門分野	科目名	母性看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
担当教員	清岡 佳子	実務経験 関連資格	臨床看護経験：①産婦人科 ②一般内科 ③精神科 臨床助産師経験 教育経験：①助産師養成所：助産論、実習 ②看護師養成所：看護学概論、母性看護学概論、母性看護学方法論、実習 ③大学・大学院：母性看護学概論、助産管理、助産論、実習		
目 的	母性看護の役割拡大を踏まえ、母性看護の基盤となる概念を理解し、実践活動に活用できる。また、女性・母性の健康の保持増進を目指した次世代の育成について理解し、個別性の高い看護実践ができるよう、統合体の母児や親となる家族を対象に、母性看護の支援について学ぶ。				
目 標	1. 人間の生殖医療と生命に関する倫理的諸問題について理解する。 2. 母性看護を取り巻く社会の変遷と現状の理解をする。 3. 女性のライフサイクルを通して、リプロダクティブヘルツ/ライツに関する健康の保持増進、健康問題の理解をする。 4. 母性看護の基盤となるマタニティサイクルにおける健康保持増進、健康障害や予防・疾病・治療など幅広い支援の必要性について理解する。			DP への対応	
				DP1,4 DP2,3 DP3 DP5,6	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕	到達目標	1. 母性とはなにかについて、母性の身体的・心理的、社会的特徴から理解できる 2. 人間の性を示すセクシャリティについて理解し、多様な価値観や人生観を有している人々を尊重できる。	母性看護概論	日本の性制度 母性の諸定義 統合体としての人間（生物学的・精神的・社会的） 性的マイノリティ 日本女性の馬話、自身の母性観	
	授業予定	1) 家族の歴史の変遷について考える 2) 母性とは何かについて定義から説明できる 3) 性について生物学的性と社会文化的な性を説明できる。 3) ライフサイクルをとおした性の発達について説明できる 4) 性的マイノリティについて説明できる。			
第 2 回 〔講義〕	到達目標	1. 母性看護の対象について理解する。女性のライフサイクルについて理解する	母性看護概論	母性保護論争：与謝野晶子&平塚らいてうについて事前学習	
	授業内容	1) 女性生殖器の形態と機能について説明できる 2) 女性のライフサイクルについて説明できる 3) 家族の機能と母性、父性、親性について説明できる			
第 3 回 〔講義〕	到達目標	リプロダクティブヘルツ/ライツについて理解する	母性看護学概論	リプロダクティブヘルツ/ライツの定義 課題レポート 1 「リプロダクティブヘルツ/ライツの現状と世界的動向」	
	授業予定	1) リプロダクティブヘルツ/ライツの定義を説明できる 2) リプロダクティブヘルツ/ライツの世界的動向について説明できる 3) リプロダクティブヘルツ/ライツの課題について考えることができる			
第 4 回 〔講義〕	到達目標	女性のライフサイクルと健康問題について理解する。	母性看護概論 女性のライフスタイルと健康問題 PC	女性のライフステージとホルモンの変化	
	授業予定	1) 女性のライフサイクルから見た女性の健康について考えることができる。 2) 女性のライフサイクル各期の健康問題を概観できる。			
第 5 回 〔講義〕	到達目標	保健医療福祉制度及び政策の歴史から母性看護の現状と動向を理解する	看護概論 国民衛生の動向	①看護の歴史を復習しておく 国民衛生の動向から母子保健に関する部分を調べておく 課題レポート	
	授業予定	1) 母性看護の起源とその後の変遷について説明できる 2) 戦後の復興と母子保健基盤整備について説明できる 3) 母子保健統計から健康や課題について説明できる 4) 母子の健康問題に関して国や自治体の取り決めについて説明			

		明できる		②「自分の母子健康手帳の記載内容を見ておく、自分の誕生について両親・家族から聞いておく」
第 6 回 〔講義〕	到達目標	母性看護における生命倫理と看護倫理について理解できる	母性看護概論	看護師の日常のケアで感じている倫理上の問題について調べておく（教科書参照）最新の生殖医療について調べておく
	授業予定	1) 女性の意思決定について考えることができる 2) 倫理上の問題に関する看護者の行動について考えることができる 3) 生殖医療と生命倫理について考えることができる		
第 7 回 〔講義〕	到達目標	母子保健の国際化について理解できる	母性看護概論	現在の国際化と母子保健問題や在日外国人の母子保健に関する動向を調べておく
	授業予定	1) 国際化の現状と問題点について説明できる 2) 国際的視点を持つことに意義について理解できる 3) 外国人、在日韓国人へのケアが分かる		
第 8 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：筆記試験（80 点） 課題レポート・学習態度（20 点）を総合して評価する。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔1〕母性看護学概論：医学書院 e テキスト ②病気がみえる（メディックメディア） ③周産期ケアマニュアル（サイオ出版） ④国民衛生の動向		
	参考図書	①女性生殖器（医学書院） ②国民衛生の動向 ③母性看護学（メディカ出版） ④母性看護技術		
	その他			
授業以外の学習方法		全体で 45 時間であることから、講義 15 時間、予習・復習 30 時間となる。		
履修上の留意点		履修認定は 1 単位である。1 単位は、全体で予習・復習、講義を含めて 45 時間とする。 課題レポートの提出は期限以内に提出できなかった場合は、評価しないこととする。		

科目区分	専門分野	科目名	母性看護方法論 I	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	①三重野 真美 ②高野 かおり ③甲斐 洋子 ④深井 昌子	実務経験 関連資格	①病院における助産師経験・看護師経験・看護学校における教員経験 ②あおい産婦人科 助産師・看護師長 ③大分県立病院 助産師・看護師長 ④大分県立病院 助産師・新生児集中ケア認定看護師		
目 的	女性の生涯を通しての性と生殖に関する健康を守り、次世代の健全育成の看護を学ぶ				
目 標	1. 女性のライフサイクルにおける性と生殖機能の顕著な妊娠・分娩期・産褥期 および新生児期とその家族の看護について理解する。 2. 妊婦・産婦・褥婦の心理的变化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、新生児の生理的特徴を習得する。			DP への対応 DP1,2,3,4,5,6	
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	1. 子どもを産み育てる意味を理解し、母親になることに対する支援について理解する。	①第1章 P29	①授業の範囲を予習する。	
	授業予定	①子どもを産み育てることの意味、 ②母親になることとそれに対する看護 ③子どもを産み育てることへの看護を学習する準備			
第 2 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアについての必要性を理解する。 2. 子どもを産み育てるにあたり、生じる遺伝・不妊の問題や自己決定支援について理解する。	テキスト①	遺伝性疾患の危険因子について復習しておく。	
	授業内容	①リプロダクティブヘルスの必要性、②遺伝 ③不妊治療と看護			
第 3 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	1. 出生前からのリプロダクティブヘルスケアについての必要性を理解する。 2. 子どもを産み育てるにあたり、生じる遺伝・不妊の問題や自己決定支援について理解する。	①第2章 P14～61 (47)	①授業の範囲を予習する。	
	授業予定	①リプロダクティブヘルスの必要性、②遺伝 ③不妊治療と看護			
第 4 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	<妊娠期の身体的、心理・社会的特性> 1. 妊娠期の身体的特性について理解する。 2. 妊娠期の心理・社会的特性について理解する。	①第3章 P62～91 (29)	①授業の範囲を予習する。 ②女性生殖器の解剖生理の復習をする	
	授業予定	①妊娠の生理、胎児の発育とその生理 ②妊婦の心理、妊婦と家族および社会			
第 5 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	<妊婦・胎児のアセスメント> 1. 妊婦と胎児のアセスメントについて理解する。	①第3章 P92～ 132(40)	①授業の範囲を予習する。 ②看護過程展開の復習をする。	
	授業予定	①妊娠とその診断 ②妊娠期の検査 ③胎児の発育 ④妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント			
第 6 回 〔講義〕 (三重野)	到達目標	<産婦の身体的、心理・社会的特性のアセスメント> 1. 分娩の進行と産婦の身体的、心理・社会的変化について理解する。 2. 産婦・胎児、家族のアセスメントについて理解する	①第4章 P211～ 226(15)	①授業の範囲を予習する。	
	授業予定	①分娩の要素 ②分娩経過 ③産婦・胎児、家族のアセスメント			
第 7 回 〔講義〕 (高野)	到達目標	<新生児と褥婦の身体的、心理社会的特性とアセスメント> 1. 新生児の生理とアセスメントについて理解する。 2. 産褥経過とアセスメントについて理解する。	①第5章 P262～ 304(42) 第6章	①授業の範囲を予習する。	
	授業予定	①新生児の生理 ②新生児のアセスメント			

		③産褥経過 ④褥婦のアセスメント	P322～ 345(23)	
第 8 回 〔講義〕 (高野)	到達目標	<妊婦と家族の看護> 1. 妊婦が受ける保健サービスについて理解する。 2. 妊婦の健康相談・教育について理解する。 3. 親になるための準備教育について理解する。	①第 3 章 P133～ 183(50)	①授業の範囲を予習する。 ②妊娠経過について復習する。
	授業予定	①妊婦が受ける母子保健サービス ②妊婦の健康相談・教育の実際 ③親になるための準備教育		
第 9 回 〔講義〕 (高野)	到達目標	<産婦と分娩期の看護> 1. 産婦と家族の看護について理解する。 2. 分娩期の看護について理解する。	①第 4 章 P227～ 261(34)	①授業の範囲を予習する。 ②分娩経過について復習する。
	授業予定	①産婦と家族の看護 ②分娩期の看護の実際		
第 10 回 〔講義〕 (高野)	到達目標	<新生児・産褥期の看護> 1. 新生児の看護について理解する。 2. 褥婦と家族の看護 3. 施設退院後の看護について理解する。	①第 5 章 P305～ 320(15) ①第 6 章 P345～ 366(21) ①第 6 章 P367～ 379(12)	①授業の範囲を予習する ②新生児の生理的変化、褥婦の身体的、心理・社会的変化について復習する。
	授業予定	①新生児の看護 ②褥婦と家族の看護 ③産後の生活調整、④育児不安、⑤産後健診 ⑥子育て支援 ⑦職場復帰		
第 11 回 第 12 回 〔講義〕 (甲斐)	到達目標	<妊娠・分娩の異常と看護> 1. 妊娠の異常と看護について理解する。 2. 分娩の異常と看護について理解する。 <産褥の異常と看護> 3. 産褥期の異常と看護について理解する <メンタルヘルスの問題を抱える母親の支援> 4. メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援について理解する	①第 7 章 P380～ 464(84) ①第 7 章 P514～ 540(26) 第 7 章 P541～ 550(9)	①授業の範囲を予習する
	授業予定	1. ①ハイリスク妊娠 ②妊娠期の感染症 ③妊娠疾患 ④多胎妊娠 ⑤妊娠持続期間の異常 ⑥異所性妊娠 ⑥ハイリスク妊婦の看護 2. ①産道の異常 ②娩出力の異常 ③胎児の異常による分娩障害 ④胎児の附属物の異常、⑤胎児機能不全、⑥分娩時の損傷 ⑦分娩時異常出血、⑧産科処置と産科手術 ⑨異常のある産婦の看護 ⑩異常分娩時の産婦の看護 ⑪分娩時異常出血のある産婦の看護 3. ①子宮復古不全 ②産褥期の発熱 ③産褥血栓症 ④精神障害 ⑤異常のある褥婦の看護 ⑥育児困難さをかかえる母親への看護⑦児を亡くした褥婦・家族の看護 4. ①妊娠・出産・育児への影響 ②治療および看護		
第 13 回 第 14 回 〔講義〕 (深井)	到達目標	<新生児の異常と看護> 1. 新生児の異常と看護について理解する。 2. 先天性異常時の看護について理解する。	①第 7 章 P489～ 513(24)	①授業の範囲を予習する
	授業予定	1-①新生児仮死 ②分娩外傷 ③低出生体重児 ④高ビリルビン血症 ⑤新生児・乳児ビタミン K 欠乏症 2-①先天異常の概要 ②先天性疾患児の看護		

第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 筆記試験 (80%)、沐浴実施試験 (20%)、60%未満は再試験を行う。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔2〕母性看護学各論：医学書院 e テキスト ②病気がみえる 産科：メディックメディア		
	参考図書	ナーシング グラフィカ 母性看護学 母性看護技術 メディカ出版、		
	その他			
授業以外の学習方法		継続看護、社会資源の活用について調査		
履修上の留意点		履修規程の必用条件について理解しておくこと。母性看護は、リプロダクティブヘルス/ライツに関することを特徴としています。生命の誕生から看護に携わることから専門職業人として、倫理的態度を求められます。その観点から授業態度は、適切な態度であるか評価します。		

科目区分	専門分野	科目名	母性看護方法論Ⅱ	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期・後期	時 間	30 時間
担当教員	①田邊 朋美 ②清岡 佳子	実務経験 関連資格	①国立病院機構別府医療センター 助産師 ②助産師・臨床看護・臨床実習指導・母性看護学教員の経験 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目的	妊婦・産婦・褥婦、新生児の観察と援助に必要な看護技術を習得する。 母性看護におけるウェルネスの視点で看護過程展開について学ぶ。				
目 標	1. 妊婦・産婦・褥婦、新生児の観察をとおしてアセスメントできる。 2. 妊娠・産婦・褥婦、新生児の観察と援助に必要な看護技術を習得する。 3. 母性看護のウェルネスの視点の看護過程の展開について理解する。 4. 演習をとおして、生命の尊厳や女性のマタニティサイクルの健康課題や育児支援について自己の考えを深めることができる。				DP への対応 DP1,2,3,4 DP3,4 DP3 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	妊婦の観察に必要な基本技術ができる。		資料	女性生殖器の解剖生理を復習しておく。
	授業予定	診察援助：問診、妊娠反応、触診、内診、超音波診断法、ノンストレステスト、各種検査			
第 2 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	1. 妊娠経過のアセスメントができる。 2. 分娩経過のアセスメントができる。		資料	妊娠期の正常な経過を復習しておく。分娩期の正常な経過を復習しておく。
	授業内容	①妊娠期：体重測定、腹囲測定、子宮底測定、モニター装着、パルトグラムの見方、妊婦疑似体験 ②分娩期：分娩体位、陣痛測定、児心音測定、圧迫法、マッサージ、呼吸法、胎盤測定			
第 3 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	産褥経過のアセスメントができる。		資料	産褥期の経過を復習しておく。
	授業予定	産婦・褥婦の観察：バイタルサイン、子宮底測定、悪露の観察、外陰部の観察他、			
第 4 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	新生児のアセスメントができる。		資料、 沐浴物品、 新生児体重計	新生児期の生理的経過を復習しておく。
	授業予定	新生児の全身観察：意識状態、全身状態、バイタルサイン測定、身体計測、身体各部のアセスメント、反射、検査、臍処置、ビリルビン測定、沐浴（演習）			
第 5 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	新生児の観察をし、安全に沐浴ができる		沐浴に必要な物品	新生児の観察とアセスメントの復習をしておく。
	授業予定	新生児の観察、体重測定、沐浴、更衣、水分補給			
第 6 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	新生児の観察をし、安全に沐浴技ができる。		沐浴に必要な物品	沐浴の目的、注意点、沐浴の頻度、手順、沐浴後のケアについて学習する。
	授業予定	新生児の観察、体重測定、沐浴、更衣、オムツ交換、水分補給			
第 7 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	新生児の観察をし、安全な沐浴ができる。		沐浴に必要な物品	なぜ、大人と一緒に お風呂に入ってはいけないのか考えましょう。
	授業予定	新生児の観察、体重測定、沐浴、更衣			
第 8 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	母乳育児支援に必要な基本的な指導ができる		資料	乳汁分泌について復習しておく。
	授業予定	母乳育児支援における援助方法①（演習）			
第 9 回 〔講義〕 〔田邊〕	到達目標	退院後の生活に必要な指導、1 か月後の健診の指導ができる。		資料	退院後生活環境、社会資源について学修しておく。
	授業予定	退院先、退院時の生活、育児			
第 10 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標	周産期におけるウェルネスの看護過程展開について理解する。		資料	看護過程の復習をする。
	授業予定	対象のアセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価			

第 11 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標	事例を用いて、グループで看護過程を展開する。	資料	
	授業予定	グループワーク		
第 12 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標	看護過程展開のグループワーク 事例を用いて、看護過程を展開することができる。	グループで 作成した資 料	
	授業予定	グループワーク		
第 13 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標	看護過程展開の発表をし、意見交換ができる。	グループで 作成した資 料	
	授業予定	グループで行った看護過程を発表		
第 14 回 〔講義〕 〔清岡〕	到達目標	産科の医療事故事例から安全確保、妊産褥婦と家族への対応 について理解する	資料	妊娠・出産における 医療事故の種類につ いて予習しておく。
	授業予定	事故事例の分析、産婦の死亡、胎児・新生児の死亡等、事故 発生時の対応（緊急連絡、説明）		
第 15 回	到達目標	<まとめ><母性看護学Ⅱの筆記試験> 母性看護学の学びをとおして、専門職としての母性看護の役 割についてレポートにまとめる。	自分で用意 図書室利用 可	レポート作成し、提 出
	授業予定	まとめ 終講試験(50分) ①まとめのレポート提出 ②筆記試験は、2人の講師の配分 をきめて問題作成する。60点以上を合格とする。		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第28条に規定する評価基準に準ずる。 方法：沐浴の実施試験：20% 終講筆記試験 80% レポート10%、全体100%の 内、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学〔2〕母性看護各論：医学書院 eテキスト ほか適宜提示		
	参考図書	適宜提示 小林康江、中込さと子：ナーシング・グラフィカ母性看護学		
	その他	資料、パワーポイント、参考図書の提示		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。演習時間内では、技術の修得は困難です。 自己学習時間を利用して実習に備えて下さい。		
履修上の留意点		母性看護の援助技術の中でも安全、科学的根拠に基づいた技術は、練習（トレーニング）を通じて しか向上しません。講義内で出される課題、技術練習に意欲的に取り組んでください。また、実践 は科学的根拠に基づいた技術を修得するように知識を活用しながらトレーニングしてください。		

